

外来より



～インフルエンザ予防接種のお知らせ～

本年度よりインフルエンザ予防ワクチンの内容が3価(A型2種類B型1種類)から、4価(A型2種類B型2種類)に変わりました。

その為ワクチンが値上がりしており、接種料金が昨年より値上がりしております。当院では、**各種割引を設定**しておりますので、内容をご確認のうえご利用下さい。

《 料金 》

未就学児 2500円

小学生 2500円

中学・高校生 3000円

大人 3250円



- * 2回目については、**1回目を当院で接種した方は2回目は「200円」**を割引きます。
- * 他院で1回目を接種された方の**2回目のみを当院で接種**される場合は「**100円**」を割引きます。
- * 10月中に接種される方には「**10月割り**」として「**100円**」割引します。
- * 平日(月～金)午前に接種される場合には「**平日AM割り**」として「**100円**」割引します。
- * 予診表をダウンロードし、**検温等全ての項目を記入**して来て頂きますと「**ダウンロード割**」として「**100円**」を割引します。
- * 全ての割引は条件をみたした場合には**重複して適用**ができます。



《 予約方法 》

ホームページにて24時間ご予約受付中です！ (パソコン・スマートフォン対応)

あんのうらクリニック



お電話でのご予約は **10月13日(火)9時より** 予約専用電話にて受け付けさせていただきます。

予約専用電話

092-821-6490



《 電話予約受付時間 》

月・火・水・金

09:00~12:00

14:30~17:00

木・土

09:00~12:00



《 接種時間 》

月・火・水・金 午前

09:00~12:00

火曜午後

14:30~16:30

月・水・金 午後

14:30~17:00

木・土

09:00~12:00



2014-2015年シーズン(本シーズン)の流行はウイルス培養、PCRの結果、A香港型(H3N2)が約95%を占め、B型はわずか5%程度で、前年A型で優勢であったH1N1型は全くみられなかった。流行開始時期は12月中旬頃と例年よりも早く、流行ピークも1月18日頃と例年よりも1~2週間早かった。また本シーズンはB型の流行がなかったことからインフルエンザは3月初めまでにほぼ流行の終息をみた。

A香港型患者の年齢層をみると、前2年(12-13、13-14年シーズン)は9歳以下が10数%程度と比較的少なかったが、本シーズンは約30%と多くを占め、また60歳以上も約20%と多かった。一方、B型は2010-11年シーズン以降、13-14年まで毎年インフルエンザ患者の20%以上を占める流行が続いており、特に前シーズン(13-14年)は患者の約半数を占めたが本シーズンは数%と極めて少なく、かつその半数は20~39歳の成人層で小児患者はごくわずかであった。またA香港の最高体温はB型よりも高い傾向にはあったが、過去3シーズンのA香港よりもやや低かった。

ワクチンの有効性に関する検討では、インフルエンザ発生率は10歳代では非接種群の29.6%に比し、接種群では10.3%と接種群で有意に低く($p < 0.001$)、有効性が確認された。抗インフルエンザ薬は例年に比して各薬剤ともA型では解熱時間が短い傾向にあり(25.8~28.7時間)、ウイルス残存率も低い傾向にあった。B型は症例数が少ないが、例年同様、A型よりも解熱時間は長い傾向にあった(37.5~46.5時間)。

インフルエンザ様疾患で受診し、同キットが陰性であった患者の40数%においてLu-minexテクノロジーにより、何らかの呼吸器ウイルスが検出された。このうち比較的多かったのは Entero/Rhino, RS, Influenza A, Corona などであった。65歳以上における肺炎球菌ワクチンの接種率は前シーズンの19.9%から28.2%に大幅に向上した。特に65~69歳は3.4%→13.3%、70~74歳は6.3→17.1%とともに約10ポイント増加し、公費負担導入による効果が考えられた。

結語：2014~2015年シーズンはほぼA香港型一色の流行であり、ワクチンや抗イ薬の有効性も確認された。

案浦 康高